



物流の2024年問題

2024年問題を奇貨として業界を変える機運高まる 共同通信が坂本克己会長にインタビュー

**特集** 物流2024年問題 現状と対策

**運べぬ荷物14%の試算も 残業年960時間に**

鍵は荷主の作業自動化 機器導入、無償デモ会

8月22日付長崎新聞に掲載された配信記事

8月22日付長崎新聞に掲載された配信記事

全日本トラック協会の坂本克己会長は、共同通信社から「物流の2024年問題」に対応するトラック運送業界のトップとしてインタビューを受けた。共同通信は8月20日に「物流の2024年問題」についての特集記事を配信。特集は「働き方改革関連法」や新たな改善基準告示などの背景から詳しく解説するとともに、同問題解決に対する民間企業の取り組みなどを紹介し、特集の要として坂本会長のインタビューを掲載している。坂本会長は、経済成長の旗頭が物流であり、「2024年問題を奇貨として、トラック運送業界を変えるという機運が出てきている」と述べた。なお、同記事は、長崎新聞などに掲載された。

経済成長の旗頭に

(坂本会長インタビュー要旨)

物流は日本の基幹産業であり、トラックドライバーはエッセンス・ドライバーだ。地域が豊かになり、産業が成長する旗頭が物流だ。2024年問題を奇貨としてトラック業界を変えていこうという機運が高まっている。ドライバーは働く時間が他の産業より2割長い。給料は1割安い。この状況をなんとかしなければならぬ。ドライバーが充実感を持って働くことで、国の物流が確立され、地方創生にもつながる。厳しい経営を強なければならない。

また政府が6月に決定した「物流革新に向けた政策パッケージ」も官民一体で着実に実現する必要がある。

こうした取り組みで業界全体が活性化すれば投資余力が生まれ、デジタルトランスフォーメーション(DX)による効率的な物流や、環境に優しい車両やシステムを導入してグリーン・GXが実現できる。

そうすれば、世間、物流事業者やドライバー、荷主業の三贏発展する「三方よし」の社会になる。



共同通信から取材を受ける全ト協・坂本会長

ら労働時間、福利厚生等の実態について、令和4年10月から11月にかけ調査した。有効回答事業者数は特積事業者37社、一般事業者754社の計791社。

全職種の1か月平均賃金は特積32万4000円(対前年比3.0%減)、一般32万9300円(同2.0%増)。これに年間賞与の1か月平均額を加えた月額では、特積37万5700円(同4.0%減)、一般37万7000円(同3.6%増)だった。

トラック運送事業者の平均年齢は男性運転手が48.4歳(前年47.6歳)、そのうち特積が49.2歳(同49.2歳)、一般が47.1歳(同46.5歳)だった。

職種別にみると、歩合給(運行士等)や時間外手当(早出、残業、深夜、休日出勤手当等)などの変動給の占める比率は、一般の運転者が比較的高かった。男性運転者のうち、変動給の占める割合が特に高いのは一般の大型運転者が49.7%だった。

さらに、賃金(賞与を含む)を年齢階級別に指数でみると、20〜29歳を100とした場合、男女総合の特積・一般を合わせた全職種の平均は50.59歳が129.2と最大で、次が40〜49歳の127.0となった。

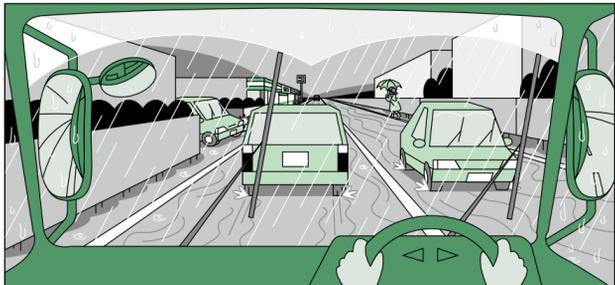
同調査の詳細は、全ト協ホームページより閲覧可能。

危険予知訓練(KYT)シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

【第160回】「土砂降りの雨の日の道路」

状況

あなたは、台風の接近のために土砂降り、視界の悪い片側1車線道路を前車に追従しながら走行しています。左側の脇道からは合流しようとする車が見えます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



◆どのような危険がありますか？

Blank box for writing answers to the first question.

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

Blank box for writing answers to the second question.

(解説・9面)

セコマ会長の丸谷氏がコラムに登場

日経夕刊「あすへの話題」で提言 「ドライバー重視へ認識変えよ」

日本経済新聞の令和5年8月7日付夕刊1面のコラム「あすへの話題」に、北海道密着型のコンビニエンスストアである「セイコマ」を運営する株式会社セコマの丸谷智保会長が登場し、「物流の2024年問題」について核心を突く一言を述べている。丸谷会長は、5年前に北海道トラック協会から依頼された講演の中でも、「これからは『荷主様』から『ドライバー様』に変わる。それが2024年問題」と指摘。また、最近も、このままドライバー不足が続く、時間外労働規制強化まで何も対策がとられない状況が続けば、「運びきれない商品が生じ、運送会社も非効率な『荷主様』は選別せざるを得なくなる」とし、「ドライバーが重要視されるのは『遅すぎた当然』である」と断言している。また、海外のドライバーの月収が1万ドル(約145万円)を超えるといわれていることから、「これからは、ドライバーも海外に出て稼ぐ時代になるかもしれない」と危惧する。最後に丸谷氏は、「日本の物流を崩壊させないためにも、我々は認識を変えなければならない。それが『物流2024年問題』に対応するファーストステップであろう」と警告している。

なお、丸谷会長は、10月4日に札幌市で開催される「第28回全国トラック運送事業者大会」での記念講演が予定されている。

『2022年度版トラック運送事業の賃金・労働時間等の実態』を公表

対前年比微減傾向

全日本トラック協会は8月10日、トラック運送事業に携わる従業員の賃金や労働時間、福利厚生

等の実態について調査した結果を取りまとめた『2022年度版トラック運送事業の賃金・労働時間等の実態』を公表した。

同調査は、令和4年5月・6・7月に決まって支給された給与の1か月平均額と、その時点における

第18回「福島県福島市『土湯温泉』」

詩本草人のぶらり旅

ど、昭和を彩る5000曲余りの名曲を作曲した、日本を代表する大作曲家です。記念館には、約600点もの展示品があり、中でもおしどり夫婦と言われた金子夫人とのツ1ショット写真は、微笑ましく心が和みます。展示室の一角には書齋を再現した和室があり、大きなテーブルに譜面と座卓が3つずつ置かれていました。展示の説明によると、何となく3曲を同時進行で作曲していたこともあったと、驚愕しました。あり余る才能を如何なく発揮し、湯水のように湧き上がる「古閑メロデー」は、今もなお国民に愛されています。

バスで福島駅に戻ると、ちょうどお昼時でした。福島市といえば、円盤餃子が有名で、屋敷は、福島駅東口の「餃子照井」へ。餃子半皿・ご飯・味噌汁・温泉卵のセット(1050円)を注文しました。カリッと揚げた餃子と、とても美味しく、お得なランチでした。

昼食後、ホテルの送迎バスに乗り、ようやく土湯温泉へ向かいました。30分ほどバスに揺られ、今宵の宿「山水荘」に着きました。ツ1の湯には早速、滝の見える露天風呂「太子の湯」に入浴しました。自然あふれる清々しい空気の中で、心が解き放たれる

東京駅から東北新幹線に乗車し、福島駅に着いたのは午前10時30分。ホテルの送迎バスの時間までは4時間ほどあり、折角の機会とと思い、折角の機会と古閑裕而記念館を訪ねました。

古閑裕而は「長崎の鐘」、「どんがり帽子」、「栄冠は君に輝く」など、約6000曲余りの名曲を作曲した、日本を代表する大作曲家です。記念館には、約600点もの展示品があり、中でもおしどり夫婦と言われた金子夫人とのツ1ショット写真は、微笑ましく心が和みます。展示室の一角には書齋を再現した和室があり、大きなテーブルに譜面と座卓が3つずつ置かれていました。展示の説明によると、何となく3曲を同時進行で作曲していたこともあったと、驚愕しました。あり余る才能を如何なく発揮し、湯水のように湧き上がる「古閑メロデー」は、今もなお国民に愛されています。

バスで福島駅に戻ると、ちょうどお昼時でした。福島市といえば、円盤餃子が有名で、屋敷は、福島駅東口の「餃子照井」へ。餃子半皿・ご飯・味噌汁・温泉卵のセット(1050円)を注文しました。カリッと揚げた餃子と、とても美味しく、お得なランチでした。

昼食後、ホテルの送迎バスに乗り、ようやく土湯温泉へ向かいました。30分ほどバスに揺られ、今宵の宿「山水荘」に着きました。ツ1の湯には早速、滝の見える露天風呂「太子の湯」に入浴しました。自然あふれる清々しい空気の中で、心が解き放たれる

ようでした。福島県には親子連れの先客がいました。40代前半ごろと思いきや父親と目が合い、「どちからですか。いいお湯ですね」と声をかけると、「はい、私、地元に住みながら初めてここに来ますね」と、私に「可愛いお子さんと一緒に来ていますね」と会話を続けると、「結婚が遅かったのでこの子は私の宝です」と、嬉しそうに話してくれました。2期1回は、旅ならではのかけがえのない体験です。お楽しみは夕食、館内のレストランで、地元福島の食材を活かした創作和食でした。部屋に戻ると、疲れが溜まっていたのか、少し横になるつもりがいつの間にか深い眠りに就いていました。

朝食は夕食時と同じ会場でのバイキングで、軽めに済ませ、「最後にもう一度」と、温泉との別れを惜しむかのように再び入浴。福島駅に向かう10時発の送迎バスに乗り込むと、私たちが見送る仲間さんたちのさわやかな笑顔は、一服の清涼剤でした。途中で、窓外に見えた果樹園の前に置かれた棚には、収穫の最盛期をむかえた桃が、島県は桃の生産地として全国第2位で、福島県は桃の産地として全国第3位で、シェア約20%を誇ります。桃は、私の好きな果物の上位で、福島駅構内の売店でお土産に買い求めました。

今回の宿からは、新幹線とバスで約2時間の温泉が点在しています。予め距離に宿の温泉を決めて、そのほかの計画を立てずに、行きまったりばったり旅も捨てたものではありませぬ。さあ、次はどこへ行くかと、早くも期待が膨らむばかりです。

(旅ライター しほん・くさこ)

首都圏／九州 定期ROROサービス

船舶を利用して物流を効率化させませんか。 「2024年問題対応」「モーダルシフト」お任せください。

お客様の様々なニーズにお応えできるよう、海路と陸路を利用したドア to ドアの海陸複合一貫輸送システムを構築。充実した航路網、経験豊かなスタッフ、豊富なラインナップのトレーラーにより、あらゆる貨物を出荷地からお届け先へ運びます。

**東京～オ田航路**

**東京～博多航路**

**オ田航路運航スケジュール**

集荷日	当日21:00	翌日22:30	翌日ミッドナイト配達
首都圏	東京港	オ田港	九州全域
3日目朝・配達	3日目06:00	翌日04:30	集荷日

※2023年9月現在の情報です。最新の情報は商船三井フェリーHPをご確認ください。その他、各港のスケジュールに関しては、お問い合わせください。

**MOL 商船三井フェリー** 営業 二部 TEL: 03-6866-7308 九州支社 TEL: 092-281-0190 mail: molftky.booking@molgroup.com



ニュース・ターミナル(官公庁ニュース等)

省 適正運賃・料金収受の実現に向けて

国土交通省は8月30日、第1回「標準的な運賃・標準運送約款の見直しに向けた検討会」を開催した。

全日本トラック協会からは、馬渡雅敏副会長と若林陽介理事長がオブザーバーとして参加している。



第1回「標準的な運賃・標準運送約款の見直しに向けた検討会」(8月30日、国土交通省)

国土交通省は「物流革新に向けた政策パッケージ」(令和5年6月2日)我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議(決定)

「標準運送約款」に関し、荷待ちや荷役など運送以外のサービスとの対価、また下請運送事業者に対する発注手続料の水準などといった論点が示された。

「輸送コスト上昇分が適切に転嫁できるよう、見直しを進めるべき」と、運送以外のサービスに関する料金や、燃料サーチャージなどを運送会社が収受できるようにすべき」との意見が挙げられた。

国土交通省では現在、自動車運送事業者に対する行政処分等の基準および整備管理者制度の運用の改正について、パブリックコメントを募集している。

近年、大型車の車輪脱落事故が多発していることを受けて、同改正では整備管理者の業務・役割として、「車両総重量8トンの大型車を保有する場合には、タイヤ脱着作業や増し締め等の保守管理を実施すること、また整備工場等に実施させ



冒頭あいさつを行う坂本ト協会長

「物流の2024年問題」解決に向け予算要求 国土交通省は8月24日、令和6年度予算概算要求案を公表した。

国土交通省は8月24日、令和6年度予算概算要求案を公表した。予算概算要求額は、一般会計7兆389億9千万円(うち重要政策推進枠)1兆614.9億円、東日本大震災復興特別会計4.6億円、財政投融資2兆415.6億円。

「標準運送約款」の見直しに向けた検討会(8月30日、国土交通省) 同検討会は、「物流革新に向けた政策パッケージ」(令和5年6月2日)我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議(決定)において、荷待ち・荷役にかかる費用や燃料高騰など、下請運送事業者に発注する際の手数料を含めて荷主企業に適正に転嫁できるようにするために、今年中に所要の見直しを図ることとされた。

特定非営利活動法人 ASK からのご案内 ASK 飲酒運転防止インストラクター養成講座 「オンライン公開スクーリング2023」を実施します

- 第2回(8月9日、アジアインターネット日本連盟)
第3回(8月10日、(一社)新経済連盟)
第4回(同、(一社)セーフティーインターネット協会)
第5回(8月22日、日本郵便)
第6回(8月23日、(公社)日本通信販売協会)

「運行管理高度化WG」 国土交通省は8月29日、令和5年度第1回「運行管理高度化ワーキンググループ」を開催した。

「運行管理高度化WG」 国土交通省は8月29日、令和5年度第1回「運行管理高度化ワーキンググループ」を開催した。

「送料無料」表示の見直し 国土交通省は8月9日以降、「送料無料」表示の見直しに関する意見交換会を順次開催し、「送料無料」表示に関する実態や見直しによる影響等を把握するため、関係団体・事業者等との意見交換を進めている。

「送料無料」表示の見直しに関する意見交換会(8月23日、消費者庁) 各回における意見の概要は図の通り。

「送料無料」表示の見直し 国土交通省は8月9日以降、「送料無料」表示の見直しに関する意見交換会を順次開催し、「送料無料」表示に関する実態や見直しによる影響等を把握するため、関係団体・事業者等との意見交換を進めている。

タイヤケアの話

タイヤジャーナリスト 渡辺 剛満

クルマを駐車する際は、フラット・スポットと呼ばれる現象で、溝の形状が元に戻らなければ、タイヤを真っ直ぐ走らせることは困難です。

クルマを1週間駐車場に放置すると、毎日使用するより空気の抜けが加速するといふ実験データもある。クルマを動かすことが「タイヤ長持ちの秘訣」になる。

圧を診ると、どちらも空気がほとんど入っていない状態でした。その2本のタイヤを車両から外し、ホイールの損傷等を含め、パンクの処置をしながら入念に調べた。

「これは「買ったとき」のおそれがあります。」

体が車重に押し潰され、ともに様々な「異常」が生じます。その異常が最も顕著に分かる時期は、「気温が3℃近くまで低下した冬場」です。

タイヤの溝は車重を掛ければ形状が変わりますが、クルマを止め続けている状態だと、ずっと「車重で押し潰された同じ面」が接地することになります。

夏場でも、クルマを駐車場に1か月ほど停める場合は、最低でも週に1回はエンジンをかけてクルマを動かして、タイヤの形状が押し潰されたまま戻らないことがあ



「これは「買ったとき」のおそれがあります。」

燃料価格高騰に対し、適正な運賃や燃料サーチャージの交渉してありますか? トラック運送事業者の皆様 公正取引委員会 違反行為 情報提供フォームへ



# トラックは被災者の尊い命を守り抜く!!

## 初動の成否を握るのは平時からの「備え」!

9月1日  
防災の日

### 自然災害に万全な 対応を期す緊急物資輸送!!

平成23年3月11日に発生した東日本大震災をはじめ、平成28年熊本地震や平成30年北海道胆振東部地震など、近年、人的被害や建物被害が生じるような強い地震が相次いで発生している。また、南海トラフ地震や首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震といった巨大地震の発生が懸念されている。

トラック運送事業者のこれまでの経験を上回るような自然災害により、安全・安定輸送に影響を与えかねない多くの課題が顕在化している。一方で、多くの国民から「エッセンシャル・ワーカー」としての役割

を強く期待されているトラック運送事業者は、激甚化・頻発化する自然災害が発生した際にも、様々な課題を乗り越えながら、被災者の命を救うための緊急支援物資輸送にあらためて取り組まなければならない。

ここでは、今年で「関東大震災」の発生からちょうど100年目にあたる9月1日の「防災の日」に際して、平時からの「防災の日」に際して、平時からのトラック運送事業者のこれまでの経験を、安全・安定輸送に影響を与えかねない多くの課題が顕在化している。一方で、多くの国民から「エッセンシャル・ワーカー」としての役割

### 「関東大震災」発生から今年で100年目

平成23年以降に日本付近をかける原子力発電所事故など、我が国では近年大規模な地震や津波の発生が相次いで発生している。また、南海トラフ地震や首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震



令和元年台風19号被害で茨城県に出勤した緊急輸送トラック

自然災害が頻発化・激甚化、さらに広域化する中で、国民生活や社会経済活動の維持に大きな役割を担うトラック運送事業者をはじめとした運輸事業者は、発災時に被害の軽減と拡大防止を図るとともに、安全を確保した上で業務活動の維持や早期回復を図ることが期待されており、自然災害への対応力向上が求められている。こうしたことから国土交通省では、令和2年に策定した運輸事業者が防災体制の構築と実践を進める際に参考とすべき考え方をまとめた「運輸防災マネジメント指針」を今年6月に改訂した。トラック運送事業者をはじめとする運輸事業者に対して、防災意識のさらなる向上を求めている。

同指針(別掲)では、被災時に最も重要な「迅速な初動」であり、初動の成否を握るのは「平時からの備え」であると指摘。災害は必ず発生すると認識し、ハザードマップ等を参考にしながら、自社の拠点等が被災した場合の代替措



平成28年「熊本地震」の際、茨城県から到着した緊急物資を熊本市総合運動公園陸上競技場に受け入れる熊本市トラック協会職員(平成28年4月21日、熊本市)

**「運輸防災マネジメント指針」の骨格**

- 運輸防災マネジメント指針の位置付け
- 目的等
  - 目的
  - 対象
  - 自然災害対応においてマネジメント上考慮すべき点
  - 経営トップの責務
- 自然災害対応の体制
  - 安全管理体制の構築
  - 事前の「備え」
- 防災力を高める連携と情報発信
  - 様々な関係者との連携
  - 利用者への情報発信
- 教育と訓練
  - 基本を習得する教育
  - 実践的な訓練
  - 他事例に学ぶ
- 災害予防から応急・復旧までの留意点
  - 災害の種別に応じた対応
  - 想定被害への対応
  - 平時からの準備、迅速な初動

国土交通省「運輸安全マネジメント制度に関する参考資料」(二次元コード)

食料の備蓄や緊急連絡網の整備などのほか、事業継続計画(BCP)の策定を挙げ、平素からの取り組みの重要性を訴えている。さらに、実践的な訓練を定期的に行うための、振り返りを行う「PDCAサイクル」に繋げていくことが、災害対応力向上には必要だとしている。

我が国の社会に深刻な被害をもたらす大地震をはじめ、自然災害の多くは発生が予測が困難である。一方で、トラック運送事業者は国民生活や我が国の経済を支える重要なインフラであり、発災時においても事業継続が求められる。大規模自然災害発生時においても暮らしと経済を支える「血液」であるトラック輸送を守り抜くために、トラック運送

事業者には災害に対する「平時からの備え」が強く求められる。

全日本トラック協会は、「大規模自然災害発生時における緊急物資輸送体制の確立」を5年度事業計画の重点施策に盛り込んでおり、全ト協防災業務計画に基づき、必要な体制整備を進めている。特に、災害発生時の迅速な対応に向け、全ト協は内閣総理大臣より災害対策基本法指定公共機関として指定されており、大規模災害発生時などには都道府県トラック協会等と連携し、被災地などへの緊急支援物資輸送を担うほか、被災地での輸送円滑化のために、「災害物流専門家」の育成を進め、全国で研修会を開催している。

また、災害時の燃料不足等に対応するため、緊急物資輸送車両への給油施設のネットワーク化の拡充を行っている。令和5年3月末で全国889か所が整備されている。

なお、国土交通省では、ホームページの「運輸安全取組事例」(二次元コード)の中で、運輸事業者における自然災害対応の取り組み事例を紹介している。

## 安全運行のオアシス トラックステーション

全国23か所のトラックステーション(TS)は  
トラックドライバーの安全運行を支える、  
長距離運行に欠かせない  
休憩施設です。

各施設の運営時間・概要・周辺地図は  
JTAA 全日本トラック協会 のHPに掲載

名称	所在地	電話番号	駐車台数
1 札幌	北海道札幌市厚別区厚別東5条1-1-2	011-897-9101	39
2 苫小牧	北海道苫小牧市ウトナイ北11-11-33	0144-55-7491	80
3 仙台	宮城県仙台市宮城野区若竹4-1-15	022-232-9336	39
4 白河の関	福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字夏計15-1	0248-21-7167	45
5 茨城	茨城県小美玉市西郷地字新田1390	0299-48-3455	30
6 矢板	栃木県矢板市乙畑440-2	0287-48-1919	46
7 大宮	埼玉県さいたま市西区三橋6-699-1	048-623-6815	41
8 東神	神奈川県大和市上草柳588	046-261-1100	97
9 新潟	新潟県新潟市西区山田196-1	025-233-6961	52
10 全沢	石川県金沢市千木町ル21-1	076-257-2755	56
11 浜松	静岡県浜松市東区流通町2-3	053-421-5311	116
12 名古屋	愛知県名古屋市中区藤原3-601	052-303-2188	97
13 亀山	三重県亀山市小野町桜川586-4	0595-82-3935	82
14 彦根	滋賀県彦根市鳥居本町むさ満2337-1	0749-26-0156	45
15 大阪	大阪府寝屋川市木屋元町20-1	072-832-2362	80
16 奈良・針	奈良県奈良市針町487-1	0743-82-0622	60
17 岡山	岡山県岡山市中区倉富285-19	086-277-4055	35
18 尾道	広島県尾道市高須町字オケ久保21193-3	0848-46-1882	37
19 三次	広島県三次市西酒屋町船所1468	0824-63-0025	30
20 北九州	福岡県北九州市小倉北区東港1-3	093-581-5031	70
21 鳥栖	佐賀県鳥栖市永吉町617-1	0942-83-7035	48
22 諫早	長崎県諫早市貝津町1051-12	0957-26-8228	45
23 大分	大分県大分市大字上戸次字宇土ノ口6045-2	097-597-6233	43

※駐車台数は大型車とトレーラーの台数の合計。なお、諫早TSは5台の中型車を含む。

全ト協

# 「秋の全国交通安全運動」 実施計画を発表

## 実施期間 9月21日から30日まで

全日本トラック協会は、8月15日、「令和5年秋の全国交通安全運動」の実施計画を発表した。

全ト協では、中央交通安全対策協議会交通対策本部決定の令和5年秋の全国交通安全運動推進要綱、および国土交通省策定の同実施計画に基づき、各都道府県トラック協会に対し事前の準備を

全日本トラック協会は、8月15日、「令和5年秋の全国交通安全運動」の実施計画を発表した。

全ト協では、中央交通安全対策協議会交通対策本部決定の令和5年秋の全国交通安全運動推進要綱、および国土交通省策定の同実施計画に基づき、各都道府県トラック協会に対し事前の準備を

# 労務 Q&A

## 第273回 定年後の再雇用者と正規雇用者の基本給の格差は

最近、定年退職後の再雇用者と正規雇用者の基本給の格差について、最高裁の判断が示されたようですが、どのような内容でしょうか。

18万円だった基本給が半分に、下の7万円に減額されたため、不合理な待遇格差を禁じた労働契約法第20条(現パートタイム・有期雇用労働法第8条)違反だとして、その差額の支払いを求めました。

# A 最高裁は下級審の6割基準を破棄・差し戻し

【解説】この事案は、定年退職後の再雇用者の基本給を減額したことは是非が争われた訴訟で、最高裁第1小法廷は7月20日付で、一審・二審が、基本給が定年時の6割を下回るの不合理とした判断を破棄し、審理を名古屋高裁に差し戻したものです。

# Q

基本給の格差の妥当性について、最高裁が判断を示したのはこれが初めてですが、その他の諸手当、賞与、退職金などの主な賃金項目については、すでに判断が示されており、貫いているのは「待遇の格差が不合理かどうかの判断にあたっては、各賃金項目の「性質や趣旨、目的」に沿って、いかにその差をきちんと言極めなければならない」としている点です。

# 【解説】

この事案は、定年退職後の再雇用者の基本給を減額したことは是非が争われた訴訟で、最高裁第1小法廷は7月20日付で、一審・二審が、基本給が定年時の6割を下回るの不合理とした判断を破棄し、審理を名古屋高裁に差し戻したものです。

【解説】この事案は、定年退職後の再雇用者の基本給を減額したことは是非が争われた訴訟で、最高裁第1小法廷は7月20日付で、一審・二審が、基本給が定年時の6割を下回るの不合理とした判断を破棄し、審理を名古屋高裁に差し戻したものです。

事業用トラックにおける死傷事故の約半数を占める「追突事故」が、及び事業用トラックが第1当事者となる死亡・重傷事故の約4割を占める「交差点事故」を防止するため、事故防止セミナーを全国開催することに、交通安全実態に即した運転者への指導・教育を促す。

## 重点推進項目

(1) 飲酒運転の根絶 (2) 追突事故及び交差点における事故の防止 (3) 高速道路における事故の防止 (4) 夕暮れ時と夜間の歩行者に対する事故の防止 (5) 携帯・スマートフォンの使用禁止の徹底 (6) 高速道路における事故の防止 (7) トレーラ事故の防止 (8) 健康起因事故の防止 (9) 過労運転等の防止 (10) WEB版ヒヤリハット集を活用した安全意識の高揚

また、事故防止に有効な安全装置の普及等により、追突事故防止及び交差点における事故防止の徹底を図る。

また、交通安全委員会、交通安全推進委員会、交通安全推進員等による指導を徹底する。

者及び自転車利用者の交通事故防止 夕暮れ時と夜間における歩行者及び自転車乗用中の交通事故を防止するため、前照灯の早めの点灯と、昼間よりも控えめ

の速度での走行の励行、交差点通過時における車両周辺の歩行者等の安全確認の励行を徹底する。

健康起因事故の防止 国土交通省制作の「事業用自動車運転者の健康管理マニュアル」及び全ト協が制作した「トラック事業者のための健康起因事故防止マニュアル(改訂版)」等に基づき、乗務中の携帯電話による通話やスマートフォン

の操作の禁止について徹底を図る。

高速道路における事故の防止 高速道路における事故は、高速道路に入り1時間以内で多く発生しているため、高速道路に入る際は可能な限り早い段階で休憩をとらせるなど、高速道路における事故防止を徹底する。

過労運転等の防止 事業者等は、運転者には、過労運転や睡眠不足が交通事故を引き起こす恐れがあることを理解させ、大型車のホイール、ナット脱落等による車輪脱落やスベアタイヤ落下による事故等を防止するため、車両の日常点検及び定期点検の確実な実施に努めるとともに、不正改造の防止を徹底する。

車両の安全性の確保 事業者等は、「自動車点検整備推進運動」及び「不正改造車を排除する運動」を積極的に推進し、大型車のホイール、ナット脱落等による車輪脱落やスベアタイヤ落下による事故等を防止する

事故情報等の収集による安全意識の高揚 全ト協ホームページ上に掲載中の「WEB版ヒヤリハット集」等を活用し、乗務員等が、全ト協ホームページに掲載されている「トラックの重大事故にかかる統計データ」や、国土交通省「クルマガジン」「事業用自動車安全通信」(次元D)等を活用することにより、事業用自動車の重大事故発生状況、事業用自動車に係る各種安全対策等についての情報収集に努め、従業員の安全意識の高揚を図る。

乗務員等が、全ト協ホームページに掲載されている「トラックの重大事故にかかる統計データ」や、国土交通省「クルマガジン」「事業用自動車安全通信」(次元D)等を活用することにより、事業用自動車の重大事故発生状況、事業用自動車に係る各種安全対策等についての情報収集に努め、従業員の安全意識の高揚を図る。

# トラック運送事業者のための 経営のヒント

## 物流ジャーナリスト 森田 富士夫

162人体制で「トラックGメン」がスタートした。内訳は既存の定員82人(兼任)と増員80人(専任)である。関係者によると、専任の80人は「省内の緊急異動に対応し、今後は職員を純増員する予定で、人員増の予算が認められるのは異例」という。それだけ「2024年問題」に対する政策的な位置づけが大きい証左である。

「トラックGメン」は荷主などへの監視体制を強化して、「荷主対策の高度化」を図るものである。ひいては「標準的な運賃」の実現を目指す。ドライバーの労働条件の改善を推進する。「トラックGメン」の実効性を高めるには、事業者からの情報収集が大きなカギを握る。国土交通省では、デジタル型の情報収集を強化するとしているが、事業者側からの積極的な情報提供が不可欠である。取引先との正常な契約関係を確立し、従業員への待遇改善と健全経営を実現する千載一瞬のチャンスである。

## 「トラックGメン」に荷主も期待!?

ことから、事業者は「トラックGメン」を最大限に活用すべきである。実は、この「トラックGメン」に期待するのは事業者だけでなく、荷主の一部にも「トラックGメン」制度によって、自分たちの取引先との取引条件の改善が期待されている。これは「1日」で辞めたドライバーもいる「ほどで、運送事業者から敬遠されている。ある業種の2次回りの社長は、「毎年入札で納入業者が決まる。その入札の仕様に、納品先でどのような附帯作業をするかが細かく書かれている。その附帯作業をなくすように要請しても『取引を希望する納入業者は他にいくらでもいるから、入札に参加しないから話を聞きたくない』という要請が増えている。なかには、その分野の取引からは撤退した荷主もいるという。この取引先の管轄は経済産業省でも農林水産省でもない。しかも、複数の省庁が関連している。そこで、運送事業者と荷主が連携して「トラックGメン」の活用を模索中だ。

## 第325回

安心と信頼がなくては、走れない道がある。しかしそれだけでは、辿り着けない場所がある。だからフォワードは、生まれ変わって続けた。そして今ふたたび、その時。乗る人を包み込むホスピタリティ、次代を見据えた安全性能、ビジネスを明日につなぐ燃費性能。すべてが、いつもの道を、新しい眺めに変えていく。ドライバーと「運ぶ」がバイタリティに満ちた毎日。前向きな一日が、新しい明日をつくっていく景色。そして、人も車もどんでん走っていく世界。「運ぶ」の走る道。フォワードはいつだって、その先を見せていく。



# 「健康職場づくり」事業者訪問

いきいきと働くことのできるトラック運送業界を目指して

## ドライバー不足のなか、従業員はかけがえのない財産

### 健康意識の向上で従業員と会社を守る

従業員が健康で長く働くことのできる職場づくりは、会社の事業を継続していくための最も重要な取り組みのひとつであるといえます。しかしながら、近年我が国において過労死等が多発して大きな社会問題になっているなど、職場におけるメンタルヘルス対策や、過重労働による健康障害防止対策

は、重要な課題となっています。そこで、本企画では、「健康職場づくり」に積極的に取り組んでいるトラック運送事業者の事例などを紹介していきます。

今回は、滋賀県栗東市の湖南運輸株式会社 中西栄代表取締役社長 長 における取り組みです。

「社内ウォーキングイベント」を開催  
スマホを活用したイベントで運動を促す

同社では、運動を促すための取り組みとして「社内ウォーキングイベント」を今年春に開催しました。

これは、チーム対抗でイベント実施期間中の平均歩数を競うもの、イベント実施に際して、参加

## 第22回 湖南運輸株式会社 (滋賀県栗東市)

「従業員の健康管理」の重要性に着目  
「幸せに働くことのできる」会社を目指す



清水 温子 執行役員管理部長



高野 菜美 管理部長

「健康教室」「健康だより」で意識を高揚  
時間外労働削減に向け荷主との交渉を進める

従業員の健康づくりに取り組む上で最も重要なのは、「従業員の健康づくりに対する意識づけ」である。

同社は5年ほど前から、従業員を対象とした「健康教室」(写真⑤)を年2回開催しているほか、月に1度「健康だより」(写真⑥)を発行し、健康に対する意識向上を図っている。

「受診することも仕事のひとつ」  
運輸ヘルスケアシステムで効果的に受診勧奨

同社では、健康診断後対象とした保健指導を実のフォロー策として、N施し、有見者が運行から帰ってきたタイミングで「運輸ヘルスケア」を活用して、保健指導を受けるよう促している。

「仕事を続ける上で健康は最も大切」  
運送会社の責務となった従業員の健康づくり

様々な健康づくりへの取り組みが功を奏し、同社では健康に関するドライバーの意識が大きく向上したという。

同社は4年ほど前から、毎日の点呼の際の血圧測定を義務化している。義務化した当初は従業員の間に健康への意識が十分に浸透していなかったが、



保健師や栄養士、作業療法士などの専門家を招き、健康づくりを学ぶ「健康教室」

「健康だより」  
毎月発行している「健康だより」では、季節に応じた健康づくりのポイントなどを紹介している。

「健康教室」では、保健師や栄養士、作業療法士などの専門家を招き、健康づくりを学ぶ機会となっている。また、同社で独自に作成している「健康だより」では、季節に応じた健康管理のポイントを取り上げ、従業員に対して健康対策を促している。

一方で、トラックドライバーによる健康起因事故を防ぐためには、実効性のある過労死防止対策を進めていく必要がある。同社では、ドライバーの時間外労働削減に向けた取り組みを推進し、過労死防止に繋げている。

「健康起因事故を防ぐためには、普段からのドライバーの健康管理も非常に重要だ」と、中西社長は、健康起因事故を防ぐためには、実効性のある過労死防止対策を進めていく必要がある。同社では、ドライバーの時間外労働削減に向けた取り組みを推進し、過労死防止に繋げている。

「健康だより」  
毎月発行している「健康だより」では、季節に応じた健康づくりのポイントなどを紹介している。

「毎日の測定を通じて自身の血圧の変化が数値として見えることで、血圧が少し上がってきたから、数値を下げるために定期的な運動やバランスの良い食事を心がけよう」と、ドライバーの意識も変わってきています。

（清水執行役員管理部長）

さらなる健康づくりに向けては、「食生活の改善」

**湖南運輸株式会社**

会社所在地 滋賀県栗東市上鈎48  
資本金 2,400万円  
設立 昭和47年2月  
従業員数 71人 (うちドライバー23人)  
車両数 23台

(取材協力) 湖南運輸株式会社  
清水温子執行役員管理部長、高野菜美管理部長

最新物流機器・システム・情報が一堂に集結!

Logis-Tech Tokyo 2023

INNOVATION EXPO

The 3rd

～知恵と技術を集結し、2024年問題を解決する～

会期 2023年9月13日(水)～15日(金) 10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト(東京国際展示場) 西1～4ホール

主催 一般社団法人 日本産業機械工業会 一般社団法人 日本産業車両協会 一般社団法人 日本パレット協会 一般社団法人 日本運搬車両機器協会 一般社団法人 日本物流システム機器協会 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 一般社団法人 日本能率協会

2024年問題を前に、運送業者さま必見の展示会です!

事前登録で豪華景品が当たります!

事前登録いただくと本展へ無料で来場いただけます

来場事前登録受付中

最新情報は公式HPにて! 国際物流総合展

https://www.logis-tech-tokyo.gr.jp/ie

来場についての問い合わせ先 | 国際物流総合展 事務局 来場者ヘルプデスク (株)ケイ・スリー・クリエーション 受付時間:9:30～18:00(土日祝は除く) Tel:03-6809-2707 E-mail:helpdesk@k3c.co.jp

# 大切なドライバーにSASスクリーニング検査を!

## SASの早期発見・早期治療が健康起因事故防止に繋がる

### 全ト協「SASスクリーニング検査助成制度」のご案内

睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは、トラック協会を通じて、SASスクリーニング検査費用に対する助成事業を行っています。SASは、居眠り運転の原因となる危険性がある上、治療をせずに放置すると命にかかわる合併症を引き起こすおそれがあるため、早期発見・早期治療が求められます。全日本トラック協会では、都道府県防ぎましよう。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは、睡眠中に無呼吸状態が繰り返される病態です。SASは、居眠り運転の原因となる危険性がある上、治療をせずに放置すると命にかかわる合併症を引き起こすおそれがあるため、早期発見・早期治療が求められます。全日本トラック協会では、都道府県防ぎましよう。

**1 SASとは?**  
 日中に強い眠気や疲労等の症状が出る「運転中の突然死」にも繋がるおそれもある。SASとは、睡眠中に、止まりかけた状態に陥り呼吸が止まったり、(睡眠呼吸障害)が繰り返される状態。中には、運転中に突然意識を失ってしまうおそれもある。

返されるために、質の良い睡眠が取れず、日中に強い眠気や疲労等の自覚症状を伴う病状である。SASでは、治療をしないまま放置すると、高血圧や糖尿病、不整脈、脳卒中、虚血性心疾患などを引き起こす危険性を高める。

**もしかしてその症状、SASかもしれません!**

①毎晩、大きないびきをかく  
 ②睡眠中に呼吸が苦しそうで、息が止まっていると指摘される  
 ③息が苦しくて目が覚める  
 ④起床時に頭痛がする  
 ⑤昼間に我慢ができないほど眠くなる

**SASが及ぼす影響**

事故  
 自動車事故発生率は2.4倍、交通事故労災事故など

病気の合併症  
 突然死や健康起因事故のリスク、高血圧、脳・心臓疾患、糖尿病、認知症など

パフォーマンスの低下  
 疲労意欲、集中力、記憶力の低下など

SASにより脳への酸素供給が不足すると、頭昏や、集中力・記憶力等に悪影響が出て、疲労意欲を下げると、日常生活上のパフォーマンス低下を引き起こします。

**表 SASスクリーニング検査助成制度のご案内**

<b>助成対象検査</b>	指定検査・医療機関が実施するSASスクリーニング検査のうち、健康保険適用外である第1次検査(簡易アンケート)および第2次検査(フローセンサ法やパルスオキシメトリ法を用いた機器による簡易検査)
<b>助成金額</b>	(1) 第1次検査費用の半額(上限 500円/人) (2) 第2次検査費用の半額(上限 2,000円/人) (3) 第1次検査及び第2次検査を同時に実施している場合は、合計費用の半額(上限 2,500円/人)
<b>指定「検査・医療機関」</b>	〈全ト協指定の検査・医療機関〉 ● NPO法人 睡眠健康研究所(電話 03-5355-9941) ● NPO法人 ヘルスクエネットワーク(電話 06-6965-3666) ● 一般財団法人 運輸・交通SAS対策支援センター(電話 03-3359-9010) 〈都道府県ト協指定の検査・医療機関〉 ● 都道府県トラック協会にお問い合わせください。

**危険予知訓練(KYT)シートの解説**

あなたは、台風の接近のために土砂降り、視界の悪い中、1車線道路を前向きに走行しながら走行しています。左側の脇道から急いで出てきた左折車と衝突する危険があります。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか、考えましょう。

**どのような危険がありますか?**

①脇道から出てくる車に気づき、減速した直後に衝突する危険があります(図1)。  
 ②前車の急ブレーキで減速した直後に左折車と衝突する危険があります(図2)。  
 ③道路を横断してきた歩行者と衝突する危険があります(図3)。

**どのような運転をすれば危険を避けることができますか?**

①この場面では、脇道から出てくる車に気づいた前車が減速することが考えられます。減速と連動して減速し、減速しつづけることで衝突する危険が低くなります。また、台風の接近による視界の悪化に備えて、減速しつづけることで衝突する危険が低くなります。また、台風の接近による視界の悪化に備えて、減速しつづけることで衝突する危険が低くなります。

**法令クイズ** ~用語・定義編~

○(法第2条第1項第5号) 交差点とは、十字路、丁字路その他2以上の道路が交わる場合における当該2以上の道路(歩道と車道の区別のある道路においては、車道)の交わる部分をいう。

○(法第2条第1項第18号) 駐車とは、車両等が待機し、荷物の積卸し、故障その他の理由により継続的に停止すること(貨物の積卸しのための停止を5分を超えない時間内のもの及び人の乗降のための停止を除く)をいう。

○(法第2条第1項第20号) 徐行とは、車両等が直ちに停止することができるような速度で進行することをい、おおむね時速10キロ以下とされている。

○(法第2条第3項第1号) 身体障害者用の車とは、歩行者に該当する。

○(法第67条第2項) 車両等の交通による人の死傷もしくは物の損壊(以下「交通事故」という)。

**あなたは解ける!!**

(8月1日号) 答え合わせ

A	B	C	D	E	F	G
コ	ウ	ソ	ク	ド	ウ	ロ

**まちがいがし**

「広報とらつく」7月5日号掲載の「まちがいがし」の正解は、下記の30名所でした。正解者の中から抽選で20名様に記念品をプレゼントします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募ありがとうございました。

**答え合わせ**

**3 全ト協助成制度について**

スクリーニング検査費用の半額を助成し、健康起因事故撲滅を助成する助成事業(二次)を実施しています。なお、助成金申請の詳細については、所属のトラック協会にお問い合わせください。

**2 SASを早期発見するためのスクリーニング検査で早期発見可能**

積極的に検査を受けて早期発見・治療を

**1 SASスクリーニング検査を受けましょう!**

判定結果とランクの説明 (NPO法人ヘルスクエネットワークで実施しているパルスオキシメトリ法検査の場合)

A判定	異常なし
B判定	身体に異常のないレベルの酸素飽和度の若干変動
C判定	身体に異常のないレベルの酸素飽和度の若干変動。強い眠気の場合は精密検査を
D判定	要精密検査(*D+は重症の疑い)
G判定	その他の呼吸器疾患
R判定	測定不能(測定時間が短い等)

**2023年10月1日 労働安全衛生規則改正**

トラックでの荷役作業時の安全対策が強化されます!! これまで最大積載量5トン以上の貨物自動車を対象としていましたが、新たに最大積載量2トン以上5トン未満の貨物自動車に対しても「昇降設備の設置」「保護帽の着用」が義務付けられました。

**Pa-manの労働安全衛生規則対応品がオススメ!!**

**アオリハシゴ 150kg** Pa-manオリジナル

トラックのアオリを倒し引っ掛けて使用。

**2段** 品番 1443380000 型式 CAR-60 税別 14,900円 (税込16,390円)

**3段** 品番 1443381000 型式 CAR-90 税別 15,180円 (税込16,698円)

●耐荷重試験 耐久性試験済み!

創業1965年 信頼の3年保証 パーマンコーポレーション 〒550-0021 大阪市西区川口4-1-5 ISO9001:2015取得

月～金 8:00～18:00 土00～14:30 日～月 0120-202-8300

**スパイラルフィルターで燃費は下げられる!!**

「工場直売 だから安い!!」 「長持ち 2倍 だからすごい!!」

吸気効率 向上 出力 向上 燃費 削減

大手純正クオリティをダイレクト販売

建機大手純正のメーカー工場直売品です。オイルエア・燃料フィルタ全て1個からのご注文OKです

10万 km 走行も馬力が落ちない。 = 燃費低減!!

一般品では7万 kmでろ材のヨリが起り出力低下!!

低燃費の秘密は... フィルターの固定角度と間隔

特殊な密着防止技術でフィルター性能を100%引き出すことに成功。ロングライフによるコストダウンと吸気効率UPによる燃費削減効果で快適な運転を提供します。

愛車と燃費を守るため、研究を続けて70年

ピーコックエレメント 製造株式会社 Peacock Element Manufacturing Co., Ltd. TEL 03-3458-0891 FAX 03-3472-0095

スパイラルフィルター 検索 info@pgf-japan.com http://www.pgf-japan.com



# 令和4年の交通事故統計分析結果

揭示用

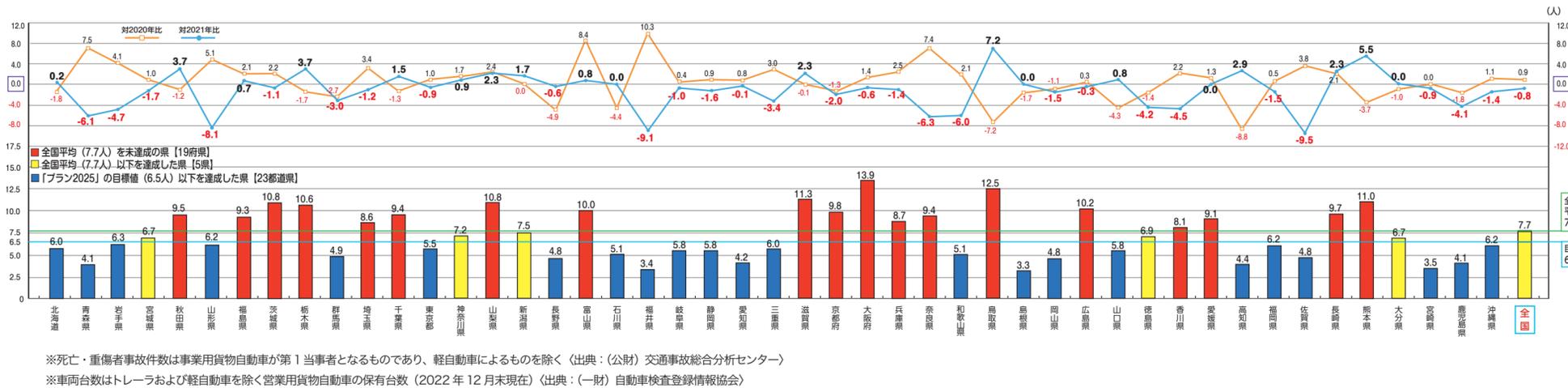
## 【車籍別】事業用トラックを第1当事者とする死亡・重傷事故

対象は事業用貨物自動車(軽を除く)が第1当事者となる死亡・重傷事故。なお、「車両相互」での第2当事者となる「車両」には道路交通法上の「軽車両」である「自転車等」を含む

国土交通省がトラック運送事業における令和7年度までに達成すべき目標値を「総合安全プラン2025」として公表したことを受け、全日本トラック協会では、「トラック事業における総合安全プラン2025」を定めて令和7年度までの目標を設定。この達成を目指して各種事故防止活動に取り組んでいます。

### 「トラック事業における総合安全プラン2025」目標値：車両台数1万台当たりの死者数と重傷者数の合計

「プラン2025」における各都道府県(車籍別)の共有目標として、「事業用トラック(軽貨物を除く)を第1当事者とする死者数と重傷者数の合計を車両台数1万台当たり『6.5人以下』とすることを掲げましたが、令和4年は最終的に『7.7人』となり、目標達成には至りませんでした。

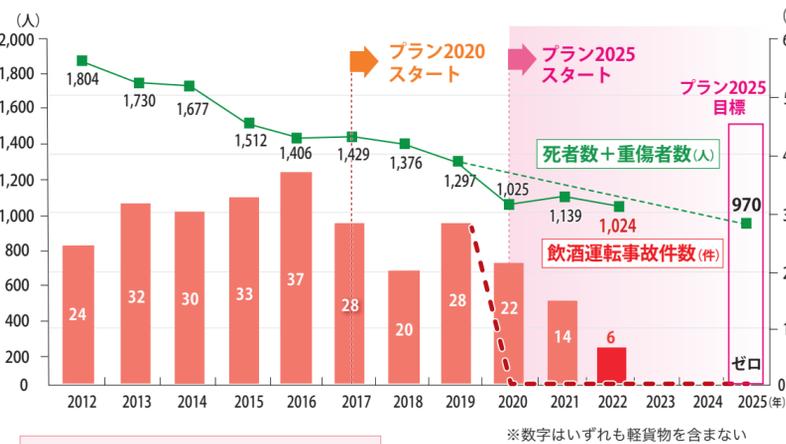


### 「プラン2025」数値目標と現況

令和4年中の死亡・重傷事故の合計件数は959件、死者数・重傷者数の合計は1,024人で、「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標である「970人」は未達となっている。

事業用トラック1万台当たりの死者数と重傷者数の合計は7.7人で、目標である「6.5人」を1.2人上回った。

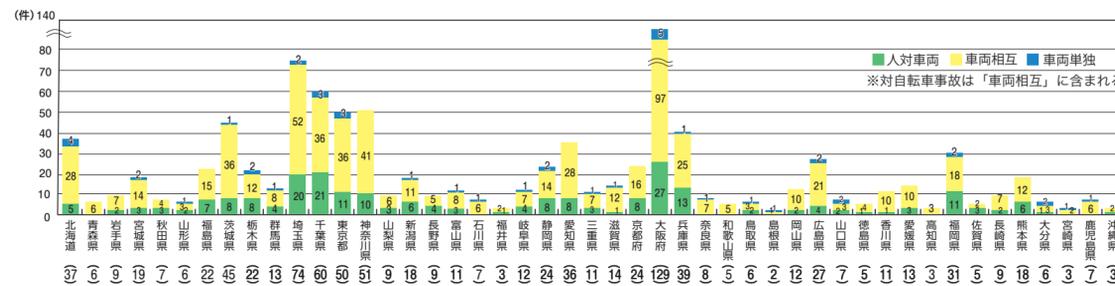
飲酒による人身事故件数は6件と、減少傾向にはあるものの飲酒運転根絶には至っていない。



### 車籍別死亡・重傷事故の発生状況

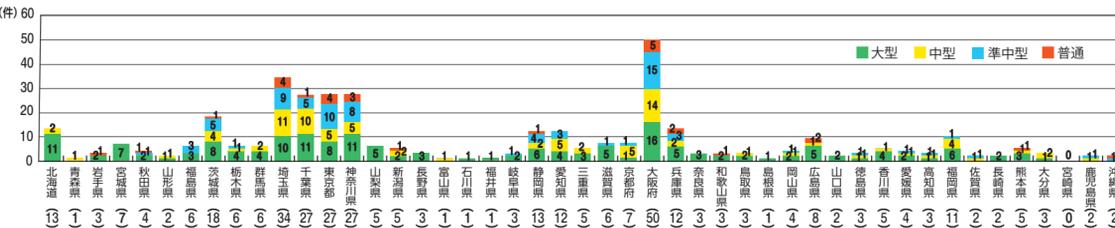
#### ●事故類型別

死亡・重傷事故を事故類型別でみると、「車両相互」が多い傾向にあり、事故発生件数の多い順は、「大阪府」、「埼玉県」、「千葉県」、「神奈川県」、「東京都」、「茨城県」、「兵庫県」となっている。



#### ●交差点事故の車種区分別(追突を除く)

交差点での事故件数が最も多いのは「大阪府」、「埼玉県」と続き、車種区分では「大型車」が全体の約半数を占める。



### 交差点における死亡・重傷事故(対歩行者・対自転車別)の発生状況

- ・事業用トラックが第1当事者となる交差点における対歩行者、対自転車の死亡・重傷事故(232件)は、追突事故(176件)の約1.3倍
- ・「左折時」：8割以上が対自転車(58件)で、大型車が多く、対自転車の7割以上、対歩行者の3割以上
- ・「右折時」：8割近くが対歩行者(73件)で、大型車が多く、対歩行者、対自転車ともに4割
- ・「直進時」：5割以上が対自転車事故(36件)で、対歩行者の約5割近くが大型車、対自転車の4割以上が準中型車

